

新年は1月6日(金)より  
業務を行います

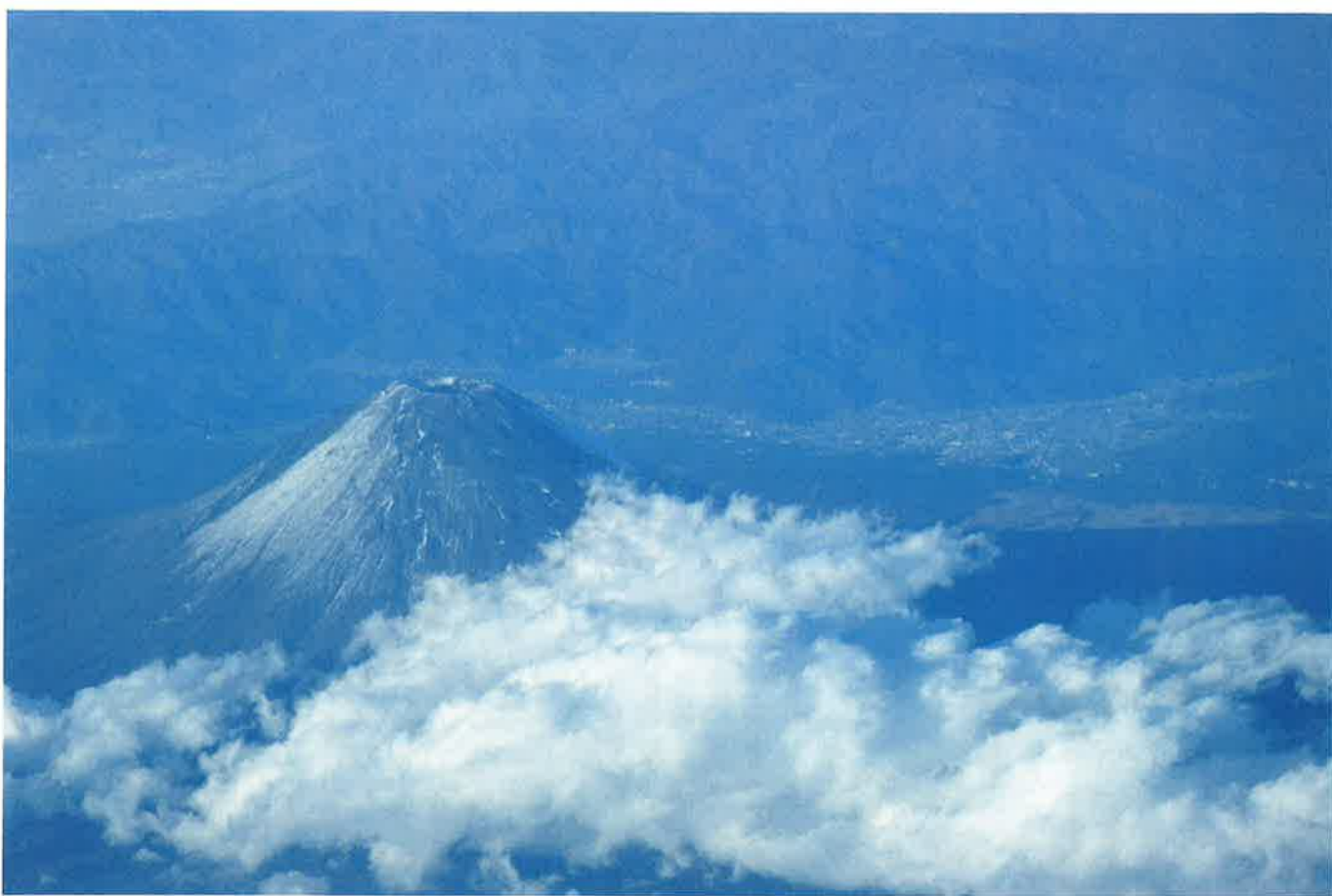
事務所HPアドレス  
http://www.tokatsu-law.com/

事務所だより



発行  
東葛総合法律事務所  
編集責任者 萩原得誉  
〒271-0092  
千葉県松戸市松戸1281-29  
住友生命松戸ビル5階  
電話 047-367-1313(代)  
FAX 047-367-1319

# あけましておめでとうございます 2012年 元旦



富士山 (沖縄に向かう飛行機より)

## 東葛総合法律事務所

- 代表 弁護士 蒲田孝代
- 弁護士 福富美穂子
- 弁護士 齋藤雅子
- 弁護士 田中淳哉
- 弁護士 宗みなえ
- 弁護士 萩原得誉
- 弁護士 長浜有平
- 事務局長 小久保雅弘
- 事務局長 小久保雅弘
- 事務局長 小久保雅弘

## JUSTICE

65年前、私たちの国は、広島・長崎の悲惨な体験から、同じ被害が地球上のどこにも起きないようにするために、新しい憲法をつくりました。

しかし、福島原発事故により、多くの子どもたちが、内部被曝に強い不安を抱えながら生きていかなければならない状況におかれ続けています。この被害を最小限にいとめるとともに、二度と同じ悲劇を繰り返さないようにすることが求められています。

国会では上滑りの議論が横行し、被災者を置き去りにした施策が進められていますが、社会的連帯を強め、憲法の原点にたった復興支援策を実現しましょう。

## 昨年を振り返って

弁護士 蒲田孝代



昨年の3月11日の東北の大震災に恐怖を感じました。まるでアメリカ映画をみているような、と

## 今年の抱負

所員より  
ひとこと

12年間、病欠ゼロが自慢です(それくらいしか自慢がない涙)。今年も皆勤賞目指します!それはさておき、昨年は布川の無罪判決というスバラシイ報告を皆様にする

ことができました。今年も活動を始めつつありますので、動向にご注目! (福富美穂子)

(齋藤雅子)

かつては風邪とは縁のない私でしたが、寄る年波には勝てず(?!)、風邪をひきやすく、しかも長引くようになってしま

いました。昨年も長期間咳をゴホゴホさせ、見苦しい姿をお見せすることになりました。今年、健康に十分気をつけよう! (齋藤雅子)

(福富美穂子)

薬害肝炎弁護団の仕事は、今年また大きな山場を迎えます。請求期限が

済法の延長と、薬事行政を監視する第三者機関創設のための法改正。この2つの大仕事を今年中に必ずやりきらなければなりません。がんばります。 (田中淳哉)

入所して2年が経ちました。もう新人という言葉は通用しません。今後は、後見制度を中心に、高齢者・障害者問題に取り組んでいきたいと考えています。感謝の気持ちを忘れず、男性弁護士の存在感も、見せつけられるよう、頑

張ります。 (萩原得誉)

入所してはや1年が経ちました。運転免許でいうと事故を起こしやすい時期だと思えます。初心を忘れないこと、良い意味で弁護士らしくない弁護士になることが目標です。今年だけでなく、ずっと持ち続けたい目標です。 (長浜有平)

入所して1月で半年です。この半年を土台に、より知識をつけ、応用できるまでいきたいです。初心を忘れず、分からないことは調べる・質問する・ノートに書くことを徹底し、事務局の戦力になっていければと思います。 (齋藤篤史)

の記事を今回も掲載するあたり、既に底が見え始めた気がしないでもないですが、いやいや、まだまだこれからです。今年も一年、頑張りましょう! (HA)

## 友の会 コーナー



後見マンにふんする長浜弁護士



後見制度を学ぶ参加者

友の会では、11月に成年後見制度の学習会を行いました。役員さんによる寸劇を交え、後見マン

(後見制度のことなら何でも知っている)による解説がありました。初参加の方が多く関心の高いテーマだと思われました。12月には忘年会を行い73名の方が参加をされ交流を深めました。本年2月には、アーサー・ピナードさんの講演会(法律事務所と共催)を予定しています。講演会のチケット1枚500円で発売中

でも自分のスタイルで考え、向き合いたいと思えます。 (小久保雅弘)

今日できることは明日に延ばさない。これを実行する一年にしたい。大切なのは今ですね。これを超えるには、力を抜いて、倒れない用心をして頑張ることです。輝く40代は過ぎました。さらに輝く50代半ば、よろしくお願ひします。 (富田常雄)

少しは体を鍛え、笑顔のまま子どもを2人いっぺんに持ち上げられるような父親をめざします? (中河哲男)

## 編集後記

新編集長になって二回目のカッとび、いかがでしたでしょうか。前回好評だった(?)対談形式

事務所で働き始めて3年になるの、いろいろな仕事を任せてもらうことが増えました。昨年から友の会の担当にもなりましたので、責任重大ですが、物おしせず、チャレンジの1年にしたい



# 日本平和大会 in 沖縄に 参加して 11/25 ~ 11/27

昨年11月25日から27日にかけて、沖縄で行われた平和大会に当事務所から長浜と齋藤(篤)が参加してきました。主催者発表によると、参加者数は、沖縄県内から約700名、沖縄県外から900名、沖縄県外から90名超、海外からは6か国16名とのことでした。本大会のテーマは「沖縄から全国へ」広げよう平和の流れ―米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本を。初日の開



アプチラガマに入るところ (玉城村糸数にある自然洞穴で全長270メートル)

挨拶の後、辺野古基地移設問題、オスプレイ配備問題、高江地区ヘリパッド建築問題、八重山教科書問題等、沖縄各地での各取り組みが報告され、さらに、原発問題、横須賀への原子力空母寄港に対する取り組み等、全国各地の取り組みが報告された他、海外代表からも、韓国済州島への米軍基地建設問題の報告、フィリピンの米軍基地撤退の報告等がされました。2日目は「動く分科会」に参加。

## 戦跡めぐり コース

最終日の閉会集会上で、初日の開会集会上で報告できなかった全国各地の取り組みが報告された他、海外代表からも、韓国済州島への米軍基地建設問題の報告、フィリピンの米軍基地撤退の報告等がされました。2日目は「動く分科会」に参加。



平和大会閉会集会上にて長浜(向かって左)と齋藤

平和大会2日目、私は「南部戦跡めぐり」の分科会に参加し、アプチラガマ、平和祈念公園、魂の塔、ひめゆり平和祈念資料館をめぐるつもりです。特に印象に残ったのがアプチラガマとひめゆり平和祈念資料館です。アプチラガマは、沖縄戦末期に日本軍が拠点として使用すると共に、付近の住民が避難生活を送っていた鍾乳洞です。入口は狭く、かがまなければ頭をぶつけるほどです。足元はつるつるとすべり、転んで岩に体をぶ

つけそうになっただ方もいました。また、懐中電灯持参でしたが、全員が電灯を消してみると真っ暗で何も見えません。こんな場所でも最大800名が6か月間も生活していたのか：頭がおかしくなりそうだと思います。ひめゆりの塔では、沖縄戦で命を落としたひめゆり学徒隊の写真、部活や生活、人柄等、真実が記された写真が展示されています。社会の授業で習った「死者何人」という数字からは伝わらない生の人間が、そこから伝わってきました。これらを見て、それでも戦争を正当化できる人はいないのでしょか。そして、現実と同じことが今もなお世界で起こっており、私たちの身近でまた起こらないとも限りません。他人事ではない、自分のこととして、目を背けないで考えなければならぬ。当たり前であるの



原発ゼロの日本を訴える福島からの参加者

この平和大会では基地の無条件撤去を求めただけではなく、日米地位協定や日米合意のあり方、今までのいなりになってきた日本政府に対する怒りが沖縄県民の民意であることを目や、耳や、肌で感じる事ができ、貴重な体験でした。

に忘れがちなことを、改めて認識した分科会でした。中部基地調査コース 事務局 齋藤篤史 私は分科会では「中部基地調査」の動く分科会に参加しました。普天間飛行場を見渡すことができる嘉数高台公園、米軍が沖縄戦の際に上陸し接収されていた北谷町、チビチリガマ、嘉手納基地を巡りました。日本全土に130以上の米軍基地があり、米軍専用施設の75%が沖縄に集中しています。沖縄に行ったのが初め

でたった私にとって、一番印象に残ったのは普天間基地でした。普天間基地は宜野湾市の約24.4%を占めています。町の中心に存在する基地の周辺には、保育施設・幼稚園は11箇所、小・中学校14校、高校・大学は4校、さらに公共施設を含めると100を超えそうです。飛行機やヘリが離着陸する度(年間の離着陸回数)は推定45000回以上)に市民には緊張が走り、100デシベルを超える戦闘機の騒音に悩まされ、住民の健康や生活が脅かされているのが実情です。また安全性が不確かなMV-22オスプレイという輸送機が2012年から沖縄に配備されることが決まり、事故や騒音、普天間基地の固定化に繋がるのではないかと懸念されています。

## 沖縄で 見たこと・感じたこと

目を閉じると  
暗く狭いガマがさらに重く…  
弁護士 長浜有平

滑走路の延長線上には小学校が…  
事務局 齋藤篤史

一人一人が行動すること大切

弁護士 齋藤雅子  
(2007年の平和大会に参加)

て、こんなにも多くの人が、全国・世界からやってくるのかと、心強く感

じました。齋藤篤史事務局(以下、齋藤 事)…私自身、東日本大震災・原発問題を通じて「平和って、安全って何だ」と考えてはいましたが、大会に参加されている方々の訴えを聞いて、頭で考えるだけじゃなく、声をあげていくことが大切だと感じました。齋藤 弁…人任せではなく、自分の肌で実感して、一人一人が行動することの大切さを再認識させられる大会です。私もそうでした。

ガマの暗闇を経験して 齋藤 弁…二人は別々の分科会に参加したようですが、それぞれの感想を聞かせてください。まずは、実際にガマを見学した長浜さん、お願いします。長浜…アプチラガマが印象的でした。狭く暗いガマの中で、人々は岩を伝う水に布を渡し、それを絞って水を飲んだそうです。また、軍医は採光口のわずかな光を頼りに麻

酔無しで手術を施し、切断された兵隊の足を、ひめゆり学徒隊の女学生が走って運び出すなどしていたそうです。亡くなった方の遺体を壁に立てかけ、見張りがいるように見せかけていたこともあったそうです。足元の岩には、ガマで亡くなった方の歯がまだに残っていました。目を閉じると暗く狭いガマがさらに重くのしかかり、暗闇に飲み込まれ、押しつぶされるようでした。齋藤 弁…私も現地で、ガマでの出来事や聞き、胸が苦しくなったのを覚えていてます。実際にガマを目の当たりにして、当時の人々に思いを馳せる貴重な経験になったようですね。

は見る事ができ、危険がこんな近くにあっというもののなかと愕然としました。戦闘機は土日には飛ばないということだったので、実際には見られませんが、バスの中で戦闘機の音を実際に流してもらいました。話は聞かえないし、耳鳴りがして、体調が悪くなりそうでした。齋藤 弁…実は、私が参加したのも同じ分科会でした。基地と町がすぐ隣り合わせにあり、市民の生活が常に脅かされているという危機感を強く感じます。そういえば、沖縄を発つ際の飛行機の飛び方が普通ではないことに気がつきましたか？

齋藤 事…離陸直後の、飛行機が一番不安定な状態で低空飛行を強いられることは、町の人達に墜落のリスクを負わせていることになりすね。長浜…これも米軍の存在が市民を危険にさらしている一事例といえますね。

平和大会初参加 齋藤雅子弁護士(以下、齋藤 弁)…今年の平和大会は、私が参加した2007年大会の参加者(1300名)よりも大幅に参加者が増加したようです。お二人は、平和について考え、訴える集いに初めて参加して、どのように感じましたか。長浜有平弁護士(以下、長浜)…今大会は1600名の参加ですね。基地問題をはじめ、自分の身近で起きていない問題は、他人事のように感じています。「誰か」が取り組んでくれるというのではなく、自分たちの問題なのだという意識を持つ



普天間基地をのぞむ(嘉数高台公園より) 基地は宜野湾市のほぼ中央に位置する 市民生活と隣り合わせで危険きわまりない

## 基地と沖縄市民

齋藤 弁…次に、普天間基地付近を見学した齋藤さん、お願いします。齋藤 事…基地から少し離れた高台にある嘉数高台公園から基地を見下ろすと、町の中心に延長線には小学校が、7年前にヘリが墜落した沖繩国際大学も高台から

これは、沖縄の上空は、米軍の管制下にある箇所が多いため、嘉手納沖を飛ばす飛行機は高度制限がされているからなんです。そのため、旅客機も通常の離陸みたいに一気に上昇することができず、低空飛行を余儀なくされているんです。

齋藤 弁…格好いいという冗談だと分かっているように安心してました(笑)。今回の経験を糧にして、これからも頑張ってください。お疲れ様でした。長浜・齋藤 事…ありがとうございました。

## 最後に…

齋藤 弁…二人は入所一年目ですが、今回の平和大会を通じて互いの絆は強まったかな？

齋藤 事…長浜先生と色々な話をし、普段見られない姿を見て、格好いいと思えました。沖縄という雰囲気の良いところもあるかもしれません。

長浜…褒めても何も出ませんよ！まあ、このように冗談を言い合える仲間になったということで、絆は深まったと思います。

齋藤 弁…格好いいという冗談だと分かっているように安心してました(笑)。今回の経験を糧にして、これからも頑張ってください。お疲れ様でした。